

海と共に

震災10年 浜発展へ誓い新た

「第40回全国豊かな海づくり大会（大会推進委員会、宮城県実行委員会主催）は10月3日、天皇、皇后両陛下が皇居・御所からオンラインでご臨席の下、石巻市で開かれた。東日本大震災から10年を経た水産県宮城の復興を全国にアピールするとともに、全国からの支援への感謝の気持ちを発信した。コロナ禍で直接の交流はかなわなかったが、両陛下は震災被災地に心を寄せる姿勢を示された。

両陛下オンラインでご臨席 天皇陛下「たゆみない努力に敬意」

県内開催は初めてで、新型コロナウイルスの影響で当初の昨年9月から1年延期した。テーマは「よみがえる 豊かな海を 輝く未来へ」。石巻市複合文

化施設（マルホンまきあーとテラス）であった午前の式典には県内外の水産関係者ら約200人が出席した。

温かいおこぼ 被災地に心寄せ

会場では大型スクリーンに両陛下のお姿が映し出された。天皇陛下は「おこぼで東日本大震災に触れ、震災後、皇后とともに訪れた被災地の光景は、今も目に焼き付いて、私たちの脳裏を離れることはありません。亡くなられた方々に対し、深く哀悼の意を表すとともに、被害に遭われた全ての方々に、改めて心よりお見舞いを申し上げます」と話された。

復興支援に感謝 持続的な漁業へ

功績団体表彰の資源管理型漁業部門で大会会長賞を受賞した当組合仙南支所（山元）などに賞状が贈られ、作文コンクールで同賞を受けた大森心結さん（石巻市立蛇田小4年）が「私の体は海でできている」と題した作品を朗読。大会終了後に稚魚などが記念放流された。マグキ、ノリ、エゾアワビ、イワナの紹介もあった。

仙台市出身の女優、鈴木京香さんによる宮城の海の豊かさや漁業者の復興の歩みなどの紹介から始まった。両陛下ご臨席、黙とうの後、大会旗が入場。地元・私立ひばり幼稚園の鼓隊演奏が先導し、旗手は宮城水産高の生徒が務めた。県実行委員会長の寺沢春彦当組合長が開会を宣言。大会イメージソングを作詞、作曲した気仙沼市のシンガー・ソングライター、熊谷育美さんが国歌を独唱した。

その上で「震災を乗り越えて、初めて全国豊かな海づくり大会が開催されることは誠に意義深く、復興に向けた地域の人々のこれまでのたゆみない努力と関係者の尽力に深く敬意を表します」と述べられた。新型コロナウイルスと述べられた。新型コロナウイルスに「水産業に携わる皆さんのご苦勞も述べられた。新型コロナウイルスに「水産業に携わる皆さんのご苦勞も述べられた。新型コロナウイルスに「水産業に携わる皆さんのご苦勞も述べられた。」と決意を語った。齋藤正美石巻市長は「全国の皆さんへの感謝を忘れず、豊かな海を守り次の世代に継承する努力を続ける」と誓った。

鈴木京香さんがナビゲーターを務めた「海づくりメッセージ」では、出演した県内の漁業者ら11人が、復興までの道のりや宮城の海の魅力、今後の夢などを発表した。当組合石巻市東部支所の石森裕治運営委員長は「震災後に始めたワカメ養殖が支所運営の柱に成長したことを報告した上で、復興の大きな支えと

午後には石巻漁港で海上歓迎・放流行事があり、約800人が参加。両陛下もオンラインで出席された。雄勝町伊達の黒船太鼓保存会の勇壮な和太鼓演奏が響く中、航空自衛隊松島基地（東松島市）の曲技飛行チーム「ブルーインパルス」が上空で祝賀飛行を披露し、開催に花を添えた。

の試練を乗り越えていくことを心から願います」と気遣われた。



④大会旗入場の先導役を務めた地元園児に拍手を送られる天皇、皇后両陛下 ⑤式典行事終了後、会場に集まった人たちに優しい笑顔で手を振られた



当組合仙南支所（巨理）所属のノリ養殖船などが海上パレードを展開。宮城の主要漁業をPRした



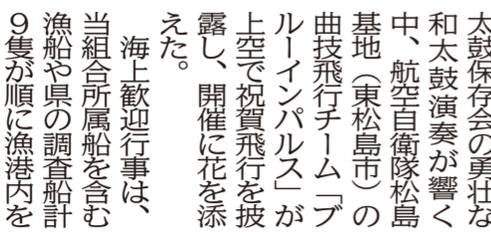
豊かな海を次世代へ継承しようとホシガレイとヒラメの稚魚約900尾を放流



オープニングで「震災を通じて、人との出会いの大切さを知った」と語る当組合女性連前会長の江刺みゆきさん（石巻地区支所）。ナビゲーターは鈴木京香さんが務めた



当組合石巻市東部支所の石森裕治運営委員長は、海づくりメッセージで災害ボランティアへの感謝も伝えた



海上歓迎行事は、当組合所属船を含む漁船や県の調査船計9隻が順に漁港内をパレード。ノリ・カキ養殖や火光利用敷網漁、沖合底引網漁といった県を代表する漁業についての説明もあった。放流行事では、前回開催地の秋田県から譲り受けた「御放流台」を使用した。石巻市立奇磯小の児童4人が代表となり、大島大会会長らとともに主要栽培漁業種のホシガレイとヒラメの稚魚約900尾を海に放した。児童4人は「この美しい豊かな海を、復興への感謝の気持ちと一緒に守り、育てていきます」などと誓った。画面から見守った天皇陛下は「海を大切に思う気持ちがよく伝わってきました。これからも豊かな海に育てることを頑張ってください」と優しく語り掛けられた。

鮮力キ出荷スタート

組合員「例年よりいい」

当組合は10月11日、今季の県産食用むき身力キの出荷を始めた。組合員は「例年より身入りがいい」と大鼓判。高まる内需需要に加え、新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除に伴い、飲食店での消費増加も期待される。

昨季並み 1600ト見込む

石巻支所の万石浦鮮会の齋藤幸一部長はかき工場では同日、組合員と家族、パート従業員ら約200人が早朝から集まり、身入りの状態を確認しながら手際よく殻をむいた。同支所かき部



殻むき作業にいそむ組合員ら(10月11日、万石浦鮮かき工場)

ASC認証取得力キは志津川支所戸倉出張所産と石巻地区、石巻市東部、石巻湾の3支所産。入札会場は11月から、共

ノリ種付け順調

矢本 前年超えに期待

県産乾のりの今季生産が順調に進んでいる。8月下旬から9月上旬にかけては、各地で種付け作業が活発に行われた。11月中旬には全国の産地のトップを切



陸上採苗に汗を流す矢本支所の組合員(8月30日)

幅1・3(び)を巻き付けた直径2(び)の水車4基を回転させ、ノリの胞子が付着した力キ殻の入った水槽にくぐらせた。頃合いを見計らって網の一部を切り取り、顕微鏡で1視野当たり20個程度の胞子を確認すると、定着用の水槽に網を移し、芽立ちを促進。種が

秋漁本番、コロナ収束も願う 各地区で豊漁祈願祭

秋漁が本格化するのを前に、当組合は9月、豊漁祈願祭を県内3地区に分けて執り行い、今シーズンの豊漁と漁の安全に加え、新型コロナウイルスの早期収束を願った。



秋漁の無事を願うおはらいを受ける参加者(9月16日、鹽竈神社)

海洋放出「認めず」 原発処理水問題

こんわ会が共同声明

政府による東京電力福島第一原発の処理水の海洋放出方針を巡り、当組合、JA宮城中央会、宮城県生協連、宮城県森連の4団体で構成する宮城県協同組合こんわ会は7月21日、国民や国際社会の理解を得られない海洋放出は行わないよう求める共同声明を発表した。



共同声明の趣旨を説明する当組合長の寺沢副会長

協同組合論

北海学園大学経済学部教授

濱田 武士

26



今回は水産物の産地表示と流通コストについて考えます。鮮魚売り場で売られている国産魚介類の産地名は都道府県名で記されていることもあれば、水域名で表されていることもあります。都道府県名は水揚げ地を、水域名は漁獲水域(具別水域)を指します。それゆ

「合理的流通」を考える

底されてきましたが、それ以前は、例えば、福島県沖で漁獲されたヒラメが石巻漁港で水揚げされたので宮城県産になるということはよくあります。このことは決して違

法行為ではありません。食品表示法に従ったものなのです。一方で狭い水域たとえば仙台湾産という表示や、〇〇漁港直送などといったものも時々見えます。産地表示は、消費者の目から見て、消費地のためにこの漁港で水揚げされたものなのか、どの船が漁獲したのかなど、細かくすべきかどうか、顔の

組合からのお知らせ

信用共済部

10月1日よりJF共済・チョコー(普通厚生共済)に新しく介護保障が加わりました。

「一時介護共済(あしすと)」と「三大疾病保障特約付介護共済(あしすとぷらす)」の2種類になります。

これまでのチョコーでも高度障害や不慮の事故による後遺障害が保障できますが、公的介護認定とは必ず一致するものではありません。

介護共済では公的介護保険制度に連動して、要介護2〜5に認定された場合に共済金をお支払いする仕組みで、終身にわたり保障されます。また、要介護認定を受けられない場合でも、高度障害にいられた際には、同様のお支払いが出来ます。

《あしすと》は一括で掛金を収めていただき、

介護共済スタート!

チョコーに新たなラインアップ

お支払いの時には、払込掛金を上回る共済金をお支払いします。比較的簡単な告知でご加入できるのも特徴で、健康に不安な方にもおすすめです。

もう一方の《あしすとぷらす》は、介護保障に加えて三大疾病にも備えることができます。ガンと診断されたとき(転移・再発は除く)、心疾患・脳血管疾患の場合に入院や手術があったときに共済金をお支払いでき、リハビリ費用や収入の補填(ぼてん)などに役立てることが出来ます。

概要につきましては、チラシも同封いたしましたので、併せてご覧いただければと思います。

詳細やご相談、具体的な設計は本所・各支所の共済担当者まで、お気軽にお声がけ下さい。



考えてみよう
自分のこと。
家族のこと。

2021年10月から
新登場!

漁協の介護共済
一時介護共済 あしすと
三大疾病保障特約付介護共済 あしすとぷらす

確かに進む復興の歩み

当組合・3施設保有漁協

来年4月合併へ調印式



合併仮契約調印式
合併仮契約調印式に出席した(左から)中部の石森組合長、当組合の寺沢組合長、北部の芳賀組合長、南部の三浦組合長

当組合と北・中・南部各施設保有漁協の関係4団体は、来年4月に合併することで合意した。東日本大震災から10年が経過し、組合員の早期復興・復興のために設立した施設保有漁協の役割は十分果たせたと判断。当組合が事業を引き継ぎ、組合経営の一層の安定化を図る。

施設保有漁協は震災後の平成23年11月、被災した組合員の漁業早期再開を目的に、当組合が北部、中部、南部の各地区に設立。震災で多額の特別損失を計上し、新たな固定資産の

取得が困難になっていた組合本体の代わりに、国の補助事業を活用して漁船や共同利用施設などを整備した。

9月10日に石巻市の当組合本所であった合併仮契約調印式には関係者約30人が出席。当組合の寺沢春彦組合長、北部施設保有漁協の芳賀勝壽組合長、中部施設保有漁協の石森裕治組合長、南部施設保有漁協の三浦正信組合長が仮契約書にサインした。

当組合の寺沢組合長は「甚大な被害を受けた組合員の漁業生産基盤も安定し、浜に震災前のにぎわいを取り戻せたことは、施設保有漁協の運営に携わった方々の尽力のたまもの。組合員にとって明るく希望あふれる合併にしたい」と語った。

施設保有漁協を代表して北部の芳賀組合長は「県漁協の経営が安定する中、施設保有漁協も当初の目的を達成し、組合員への(漁船や機器など)資産払い下げも進んでいる。資産を県漁協に引き継ぐことで真の復興を示していきたいのではないかと。滞りなく運営できたことは感無量であり、感謝したい」と述べた。

10月の各団体の臨時総会で合併が承認され、県の認可を経て、来年4月1日付の合併を目指す。3施設保有漁協は解散する予定。

理された殺付きは特別価格で販売され、ホヤでいっぱいになった買い物かごを抱えた客の姿も。蒸し、炙り、郷土料理「ほやたまご」などの加工品も人気を集めた。県の観光PRキャラクタ「むすび丸」は法被姿で買い物客にアピールした。

ホヤ消費拡大へPR

みやぎ生協と協力し現物供給



みやぎ生協(仙台市)は7月17、18の両日、県内全店でホヤの消費拡大キャンペーンを展開し、

韓国による輸入再開の見通しが立たない中、国内消費の拡大は喫緊の課題。本所経済事業部流通推進課の高橋一実課長は「鮮度管理や冷凍技術は年々進歩し、ホヤ初心者でもおいしく食べられる加工品も増えてきた。首都圏だけでなく、関西方面などにも目を向けていきたい。輸出先の新規開拓に取り組んでいくことも重要」と力を込める。

浜人命救助に貢献

表 組合員ら3人に感謝状

牡鹿半島の入り江で波によって身動きできなくなった手漕ぎゴムボートに乗船の男性2人を救助したとして8月26日、当

ボートで十八成浜に戻る時、約2・5分の波で思うように進めず、半島沿いの入り江に避難。1人に熱中症の疑いがあったことから118番通報した。

救助依頼を受けた水難救済会表浜支所の石森さん、千葉さん、大壁さんの3人が船で現場に急行し、男性2人を船内に収容。2人は市内の病院に搬送されたが、入院や加療の必要はなかった。

同支所で保安署の伊藤康彦署長が「悪天候の中、迅速かつ的確な救助活動だった」と述べ、感謝状を手渡した。

宮城海上保安部の職員がライフジャケットの正しい着用方法や非常投浮の使い方を指導。▽事故に気付いたら周囲に知らせ、118番に連絡する▽救助は、水面に大の字になつて仰向けで浮いた状態で待つ—といった適切な対処策なども解説した。

海保職員が海に落ちて溺れた人の役を務め、参加者が実際に非常投浮を投げて助ける訓練を実施。武田部長は「非常投浮は、簡単に作れるのも魅力。いざというときに落ち着いて行動できるようにしたい」と気を引き締めた。

海難事故備え訓練

石巻市東部女性部

漁具応用した救命具で

当組合石巻市東部支所女性部(武田寿子部長)は8月6日、支所前の鹿立漁港岸壁で海難救助訓練を行った。部員約20人が漁具など身近な物で作れる簡易救命具「非常投



要救助者役を非常投浮で引き上げる女性部員ら

浮環(浮輪)より遠くまで投げられるのが利点とされる。アバ玉はクーラーボックスや発泡スチロール箱、ペットボトルなども代用可能。ペットボトルに水を入れると重くなり、風に左右されずに溺れている人に届きやすいという。

JF共水連東北事業本部宮城支店

宮城、福島両県で最大震度6強を観測した今年2月13日の地震。瓦が落下した屋根にブルーシートを張ったままの民家が今も残る中、被害を受けた当組合員の支えとなったのがJF共済だ。

3月20日、5月1日の地震被害と合わせ、宮城県内の支払い共済金は計約1500件・5億2300万円。大切な財産の万一に備えたい漁業者ら



介護共済新設 若者にもPR

の心強い味方となった。JFの「新くらし」は自然災害が起きて、建物や家財などに生じた損害を幅広く補償する。今年創設70周年を迎えたJF共水連は「一人は万人のために、万人は一人のために」という理念の下、全国の漁家世帯を扶（たす）け合いの心でつなぐ団体。東北事業本部宮城支店は当組合や県内の水産加工業協同組合などと連携し、組合員とその家族の暮らしの万一を補償する共済事業（JF共済）を展開する。

主な補償は「一人1生命共済（チヨコー、ノリコー、ダンシン）」、「物1損害共済（くらし、カサイ）」、「老後11年金共済（ねんきん）」の3種類。



寺沢春彦本部長



岡崎完児支店長

「浜の安心を未来へ」ひろげよう共済の輪。初年度の令和2年度はコロナ禍に加え、地震発生に伴う巡回・鑑定作業により推進活動が停滞した。今年度はこの分の遅れを取り戻そうと、前年度実績を大きく上回るチヨコー800件・54億円、くらし330件・36億5千万円の新規契約獲得が目標。がん入院の無制限



「あしすとぷらす」のPRチラシ。若年層は手頃な掛金で加入できる

「2つがあり、2つに合せて選べる。加入年齢はあしすとが40〜80歳で、60・65・70・80歳で払い込み終了のあしすとぷらすが20〜75歳。少ない自己負担でさまざまなサービスが利用できる。岡崎完児支店長は「一年を取って介護が必要になった漁業者とその家族を浜全体で支える仕組みづくりが求められている。若年層の加入も掘り起こしたい」と話す。

東日本大震災後、JF共水連は過去最大の共済金の支払いを通じて漁業・漁村の復旧・復興に大きな役割を果たした。同支店の寺沢春彦本部長（当組合長）は「漁業者のためのシステム。組合員がより安心して操業できるように、さらに連携を深めていきたい」と語る。

コロナ禍のため推進活動がまだまだ制限される中、岡崎支店長は「海に生き、浜に生活する漁業者の皆さんの生命と財産を守ることに課せられた使命。豊かで魅力ある漁村づくりに貢献していきたい」と力を込める。



個々に合った 加入計画提案

宮城県漁業共済組合は、漁家経営のセーフティネット（安全網）として欠かせない団体。漁獲、養殖、漁業施設などを対象に、不漁や災害に見舞われた漁業者の損失

を補填（ほてん）する。新型コロナウイルスによる魚価低迷や相次ぐ貝毒の発生、記録的不漁など課題がつかないほど山積する中、小さな掛金で大きな補償を受けられる



阿部彰喜組合長



飯尾英樹専務

「漁業共済（ぎよさい）」の役割は拡大。積立型の「積立ぷらす」の存在感も年々増している。

「令和の備えも『ぎよさい』と『ぷらす』をスローガンとした『ぎよさい普及推進全国運動』が昨年4月にスタート。運動初年度となった令和2年度は共済の引受件数が9835件、金額が2

61億5284万円（前年度比15%増）と過去最高の契約高を達成した。一方、支払金額は24億5058万円（同10%増）。このうち漁獲金額の減少分を補う「漁獲共済」が約7割の17億3566万円（同83%増）を占めた。温暖化に伴う環境変化などを原因としたサンマ樺受網、一般敷網、船曳網、定置漁業の不振を反映する形となっ

た。果たず役割も年々大きくなっている。「秋サケは震災前のように獲れず、共済金と積立ぷらすが必要ならば、従業員への賃金の工面で頭を痛めるどころだった」。ある小型定置漁業者は、加入のメリットをこう話す。

積立ぷらすの財源は国が4分の3、漁業者が4分の1を負担。漁業者が減収となったときに、漁

共済の加入率は約8割と全国平均並みだが、いざという時に役立つ補償内容を説明する機会を増やし、一層の周知・普及を図りたい考え。「全ての漁業者が安心して漁業に従事できるように努めたい」と飯尾英樹専務。今年度の引受金額の目標は263億円に設定した。

昨年12月、改正漁業法が施行された。魚を増やし、漁業を成長産業にすることを目指す法律。海洋環境の変化に科学で立ち向かい、漁業をもうかる産業にして、若者の参入を促す。「代替わりするには安定した収入がまず第一。そのために共済に加入している」と話す漁業者がいるように、共済は未来を担う後継者への事業のバトンタッチが

関係先を訪ねて

宮城県漁業共済組合



令和5年3月まで展開中の「ぎよさい普及推進全国運動」の啓発ポスター

常勤役員6人。令和2年度の共済引受金額の内訳は「漁獲共済」95億2380万円、「養殖共済」86億608万円、「特定養殖共済」59億4160万円など。塩竈市新浜町2丁目9の32第2水産会館ビル3階、電話022・3677・7705

「三陸食堂」を新たに用意。計8種類を特別価格で提供します。組合員の自宅への配送も無料。お歳暮などの贈答用にものしサービスも行っています。来年1月末までの販売で、年内発送の受付締め切りは12月16日。詳しくは同封のカタログをご覧ください。

生カキ、総菜など8種 特別価格&送料無料



当組合は今年も、宮城自慢の海産物を送料無料で全国に届ける「海のおとどけ便」を、組合員限定で販売します。昨年は約500件の申し込みがあり、大変好評でした。今年のみやぎサーモン、生食用カキ、はらこめしセットなどに加え、レンジで温めるだけの総菜シリーズ「三陸食堂」を新たに用意。計8種類を特別価格で提供します。

組合員限定

「あしすとぷらす」のPRチラシ。若年層は手頃な掛金で加入できる

海の幸お歳暮に「おとどけ便」 今年もいかが

